

# 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 7 年 3 月 29 日

事業所名：多機能型事業所 キートス・テトラ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	意見 (工夫している点、課題など)	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	1			
	2	職員の配置数は適切である	5	1		送迎できるスタッフが足りていない	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	2		駐車場の段差があり、車の乗り入れがスムーズではない。	タイヤ等に支障が出ないように点検の回数を増やしていく
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5	1			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		1		今年度初の実施のため過去の公表はない
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	2	1		必要に応じて行い、業務改善に繋げていく
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6				
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	1		見学時やモニタリングの際に行っている	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1		あるが活用できていない 5領域アセスメントにて実施	スタッフ間で共有できる時間を確保する様に工夫していく
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	2		管理者かリーダーが考えているのでチームでは考えていない。 何をするかは、リーダーが決めそれを昼礼で報告しているが、活動内容の意見交換がない。	報告だけでなく、前回の活動の様子も踏まえ全体で話していけるよう工夫していく
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	1	3	2	固定化している	飽きがこないような工夫が必要である
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	1	1	課題の設定にもう少し時間を使えたらいいと思う	事前に共有し、短い時間でも課題設定ができるように工夫していく
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	1		しようとしていたが、時間が経つとなあなあになってしまっている部分がある	打ち合わせ内容は毎回同じ事が話し合えるようになる必要がある
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	2		その日ではなく次の日の朝礼で振り返りをしている。 翌日の朝礼時に実施 土曜日のみ	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	2		サービス提供記録、日報に記載している	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	6				
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6				
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	3	3		お便りを保護者様に与具で送ってもらうことが遅くなり、ぎりぎりまで下校時間がわからないこともある。 努力はしているが、フローが定まっておらず	イレギュラーな変更もあった際は、報連相を行い全体で対応する様に心掛ける
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	3	1	医療的ケアが必要な利用者がいないため医療的ケア児童がいない。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	1	1		相談支援員さんや保護者を交えて情報共有をしていく
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	2	1	実施するケースがいなかった 対象児童がいない 今後出てくる課題なので、しっかり情報共有をしたい	事前準備を行い、対応できる体制を整えていく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	2	1		研修機会があったら積極的に参加していく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	2	1	お出かけなど地域交流はあるが、子ども同士の交流は少ない	事業所単位でのお出かけは行なっている。他児童との交流に関しては今後企画を立て、検討していきたい
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	1	2	3		今後参加できる機会があれば積極的に参加していく
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6				

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	1	2		今後企画を立て、勉強会等を検討していきたい
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6				
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	1	1	保護者参加型の勉強会や茶話会などを企画している	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	1		LINEやインスタ等を利用して発信している SNSでおこなっている 個人の写真を送っている。	
	35	個人情報に十分注意している	6				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	1	3		地域へのお出かけは行なっているが事業所に招待までは行えていない。今後企画を立て、検討していきたい
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6				
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	1			契約時に説明をしている
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	2	1	対象児童がいない	アレルギーの有無にかかわらず、調理イベントなどで食品を扱う場合には成分表を事前に確認している
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	2		共有無し	事例が起これば、当日・翌日に共有していくよう心掛ける